

図工・美術で使う画材について

入学・編入時に用意して頂いたクレパス、絵の具セット、デザインセット（中学部のみ）を使っています。

図工・美術では、児童・生徒達がいろいろ試して失敗もしながら学んでいく事になります。最初のうちはどうしても無駄になってしまうことがたくさんあるかと思えます。それでも自由にチャレンジしてもらうために、画材を大切に使うことを前提として十二分に使わせて頂きたいと思っています。学校で指定されている日本製の物は質が高く良いものですが、ミラノではなかなか手に入りにくいかと思えます。そこで私が試して見て、イタリアでも比較的簡単に手に入る同程度のクオリティーの画材を紹介します。今回紹介するものはすべてイタリア・アマゾンで購入可能です。

・クレパス（クレヨン）について

日本の学校で使用するクレヨンはオイルパステルと言われるもので、イタリアのクレヨン（ロウのクレヨン）とは発色、技法とテクスチャーに違いがあります。

12色から18色くらいのものを用意して頂ければ十分です。

1) Sakura XCJP12 - Set di 12 pastelli ad olio per artisti di Cray-Pas Chubbies, colori assortiti

サクラクレパスの海外向けの物になります。12色セットの日本向けとの大きな違いはとても太く大きい（単2電池くらいの大きさ）ので、低学年には持ちづらいかもしれません。色数の多いセットでは細いサイズもあります。



2) Pentel PHN Pastelli ad Olio, Confezione da 25 Pezzi

ぺんてるくれよんの海外向けの物です。鉛筆程の太さなので細かい描写にも向いています。筆圧の強いまたは力加減が難しい児童にはボキボキ折れて使いづらいかもしれません。



3) Faber-Castell 127012 Pastelli ad Olio, 12 Pezzi

ファイバーカステル社のオイルパステルです。チョークアートのアーティストが使うほどの発色と質の良いものです。



4) GIOTTO Olio Maxi - Astuccio da 24 Pastelli a Olio Maxi, 11mm, Colori Intensi



ジョットのオイルパステルです。スーパーでも買うことができます。箱にolioと書いてあるものを買ってください。またクレヨンも混色が出来ないので色数があると絵を描くときとても楽しいです。

・絵の具セットについて

水彩絵の具は特に消費が多くなります。イタリアで一般的なgiottoやprimoのtemperaという絵の具は、顔料の違いで混色するととても汚い色になってしまいます。小学校の図工は大きく絵・立体・工作・鑑賞の4つの分野に分かれており、絵の分野では「色のたし算」として混色の練習が必須です。そこで混色が綺麗にできる絵の具が必要になります。またイタリアでよく売られている固形タイプは学校では使いません。また水彩絵の具も12色あれば十分です。

(日本製の絵の具セットにはサクラクレパスのマット水彩かぺんてるエフ水彩の絵の具がセットになっています。)

1) Pentel WFRS2-12 Acquerelli in Tubo da 12 colori, Multicolore

ぺんてるエフ水彩の海外向け商品です。日本の絵の具セットに入っているものと中身は全く同じものです。



2) Cotman Scatola 12 Tubi 8 ml

ウィンザーアンドニュートンの水彩絵の具です。値段が高いのですが、プロも使う品質いいものです。



3) Arteza Acquerelli in Tubetto Professionali, Set da 24 Tubetti in Metallo (24 Pezzi da 12ml), Acquarelli Opachi dai Colori Vivaci e Brillanti, Ideale per chi Impara e Come Idea Regalo per Esperti

アルテザの練習用水彩絵の具です。内容量が多くコストパフォーマンスが良いので美術系の学生が使っているようです。



4)GIOTTO Extra Fine - Astuccio da 12 Tempere Extra Fine in Tubetto

イタリアでは一般的なジョットの水彩絵の具です。このextra fineというシリーズだと品質が高くおすすめです。スーパーなのでも売っているので比較的簡単に手に入ります。学校近くの文具店ではバラ売りもあるので補充することもできます。

